
専門基礎分野

人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を
強化する

授業科目	疾病と治療Ⅷ (精神障害と治療)	講師名	医師	単位数	1 単位	
				時間数	15 時間	
				年次 学期	2 年次 前期	
学習目標	1. 主な精神症状を理解する。 2. 精神障害の分類と検査を理解できる。 3. 主な疾患の特徴と治療を理解できる。					
回数	主題	学習内容および方法			授業形態	
1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回 8 回	1. 主な精神症状	1. さまざまな精神症状 1) 思考の障害 2) 感情の障害 3) 意欲の障害 4) 知覚の障害 5) 意識の障害 6) 記憶の障害 7) 局所症状 (失語・失行・失認)			講義	
	2. 精神障害の分類と検査	2. 精神障害の診断と分類 1) 原因と分類 2) DSM 分類 3) ICD 分類				
	3. 臨床検査	1) 脳波検査 2) 脳の画像検査 3) 心理検査 4) 脳脊髄液検査				
	4. さまざまな疾患と分類	1) 統合失調症 2) 気分 (感情) 障害 3) 神経症性障害、ストレス関連性障害および身体表現性障害 4) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 5) パーソナリティ障害 6) 器質性精神病 7) てんかん 8) 知的障害/精神遅滞 9) 心理的発達の障害 10) 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 11) 心身症				
	5. 精神科での治療	1) 身体療法 ①薬物療法 (抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬、抗不安薬、睡眠薬、抗てんかん薬、副作用に関する内容を含む) ②電気痙攣療法 2) 精神療法 3) 行動療法およびリラクゼーション (行動療法・SST・自律訓練法など) 4) 環境療法・社会療法 (作業療法など) 5) 集団精神療法 6) 家族療法				
	試験					
	評価方法	筆記試験				
	テキスト 参考書等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院				
備考						

授業科目	保健医療論	講師名	医師	単位数	1 単位
				時間数	15 時間
				年次	2 年次
				学期	前期
学習目標	1. 古代・中世の医療から現在の医療までの変遷を学び、現代医療を理解する。 2. 生命倫理の理解を通して、現代医療における倫理的問題を考察することができる。 3. 保健医療のあり方を学び、社会における医療の役割を学ぶ。				
回数	主題	学習内容および方法		授業形態	
1 回	1. 医学・医療のあゆみ 2. 現代の医療	<ul style="list-style-type: none"> 現代医学の起源 医療に関する誓約、規範、倫理の歴史 ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言 20 世紀の医療 日本における医療の変遷 		講義	
2 回 3 回	3. 先端医療技術の高度化と新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代医療の最前線 移植医療、人工臓器の開発、体外受精、遺伝子操作 医原病、延命治療への疑問、死の判定 		講義	
4 回 5 回	4. 医と倫理	<ul style="list-style-type: none"> 生命倫理とは 生命倫理の四原則 先端医療と倫理問題 脳死と臓器移植、生殖医療、 医薬品の臨床試験における倫理 倫理審査委員会の設置構成と責務 医療における患者の権利 自己決定権とインフォームドコンセント 告知と終末期医療、脳死と臓器移植 死の判定、死の基準、法的整備、安楽死と尊厳死、 クローン再生、ホスピス 医療従事者のジレンマ 		講義	
6 回	5. 生活と疾病 6. 我が国の医療供給体制	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念 疾病の概念、我が国の疾病構造 我が国の医療制度の特徴 診療所と病院、医療施設の動向、 医療サービスの推進と確保 医療関係者の現状 医療保障の現状と課題 医療保険制度、高齢者医療、 国民医療費の動向、医療保障の今後の課題 		講義	
7 回	7. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> まとめ 		講義	
8 回	試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト 参考書等	新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度① 現代医療論 メヂカルフレンド社				
備考					

授業科目	公衆衛生	講師名	非常勤講師	単位数	2単位
				時間数	30時間
				年次 学期	2年次 前期
学習目標	公衆衛生学は、社会の組織的な取り組みを通じて人々の疾病予防や身体的・精神的健康の増進を図る実践的な学問である。母子保健、感染症対策などのトピックを学び、公衆衛生学の本質を理解する。				
回数	主題	学習内容および方法			授業形態
1～4回	公衆衛生学の概論 統計	ディスカッションを行いながら、ヘルスプロモーションなど公衆衛生学の基本を学ぶ。実際のデータを電卓で計算することで、統計に親しみながら、人口統計、疾病統計、国民医療費などを学ぶ。			講義
5回	母子保健	母子保健法などについて学ぶ。			
6回	感染症	感染症対策や予防接種などについて学ぶ。			
7回	精神保健	患者の入院形態や社会復帰などについて学ぶ。			
8～9回	地域保健 学校保健 産業保健	保健所や市町村保健センターなどについて学ぶ。学校の保健管理などについて学ぶ。労働者の労働衛生管理などについて学ぶ。			
10回	食品衛生	食中毒統計を中心に、食中毒を引き起こす細菌やウイルスなどについて学ぶ。			
11～12回	生活環境 難病 国際保健	生活にかかわる事柄（公害、廃棄物処理、地球温暖化、シックハウス症候群など）について幅広く学ぶ。また、我が国の難病対策や WHO など国際保健についても学ぶ。			
13～14回	疫学	コホート研究などの研究デザインやスクリーニングなどについて学ぶ。			
15回	単位認定テスト				
評価方法	筆記試験や授業態度などで合否を決める。				
テキスト・参考書等	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生(第12版)医学書院 公衆衛生がみえる 2022-2023 (第5版) メディックメディア				
備考	1回目から2回目の講義と13回目から14回目の講義では、電卓を持参すること。携帯電話についている電卓機能でもよい。				

授業科目	社会福祉	講師名	非常勤講師	単位数	2単位
				時間数	30時間
				年次 学期	2年次 前期
学習目標	福祉の基本を学び、人を援助するということは何か 現代社会の現状と課題をみつめながら、福祉活動を多面的に理解することを目的とする。社会生活をおくる上で、常識として知っておくべき福祉サービスだけでなく、看護職として、専門的に知っておくべき制度サービス、制度外サービスを具体的に学び、将来の看護現場で活かされるようにする。				
回数	主題	学習内容および方法			授業形態
1回	社会福祉の理念	社会福祉の考え方と基本理念について			講義
2回	社会福祉の歴史	日本の社会福祉の歴史と諸外国の社会福祉の状況			
3回	社会保障制度	社会保障の概念・目的・機能・体系・内容について			
4回	社会福祉の法制度	社会福祉六法と財政・組織・担い手について			
5回	社会保障・社会福祉の動向	現代社会の変化とそれを取り巻く社会保障・社会福祉の動向について			
6回	医療保障・所得保障	医療保障制度と所得補償制度・年金制度の構造・体系と制度について			
7回	介護保障Ⅰ	介護保険制度創設の背景・歴史と概要について			
8回	介護保障Ⅱ・高齢者福祉	介護保険制度の内容と高齢者福祉の課題・展望について			
9回	公的扶助Ⅰ	公的扶助の基本と生活保護制度について			
10回	公的扶助Ⅱ	生活保護制度のしくみと低所得層対策の課題について			
11回	障害者福祉	障害の種類と障害者福祉の概要について			
12回	児童家庭福祉	児童福祉を中心とする児童家庭福祉の概要について			
13回	社会福祉援助技術Ⅰ	援助することの意味（演習）			
14回	社会福祉援助技術Ⅱ	ケースワーク・グループワークの基本を知る（演習）			
15回	これからの社会福祉	福祉基礎構造改革以降の新しい福祉の形について 15回は試験を含む			
評価方法	筆記試験				
テキスト 参考書等	系統看護学講座 社会保障・社会福祉 医学書院 国民の福祉と介護の動向 2021/2022 厚生統計協会				
備考					

授 業 科 目	関 係 法 規	講 師 名	事務職員（1、2、3回） 専任教員（4、5回） 薬剤師（6、7回）	単位数	1単位
				時間数	15時間
				年次 学期	3年次 前／後期
学 習 目 標	看護活動に関係する諸法規について、その目的、対象等を理解する。				
回数	主題	学習内容および方法			授業 形態
1・2回	1. 法規の概念 2. 医事関係法令	1. 法の分類 2. 衛生法の種類 3. 医療法 4. 関係資格法 5. 地域保健法			講義
3回	3. 保健衛生関係法令	1. 健康増進法 2. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
4・5回	4. 看護関係法令	1. 保健師助産師看護師法 2. 看護師等の人材確保の促進に関する法律			
6～7回	5. 薬事関係法令	1. 医療品医療機器等法 2. 毒物及び劇物取締法 3. 麻薬及び向精神薬取締法 4. 大麻取締法・あへん法・覚せい剤取締法 5. 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 6. 医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（治験） 7. 再生医療等の安全性の確保に関する法律 8. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法			
8回	筆記試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト 参考書等	系統看護学講座 基礎分野 看護関係法令 医学書院 看護六法 令和4年度 新日本法規				
備考					